

中型トラックの緩衝装置のリコールについて

平成 19年10月16日

リコール届出番号1954

平成19年10月16日、日産ディーゼル工業株式会社は下記のリコールを国土交通大臣に届け出しました。

対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- ・キャブ高さを調整するためにフロントアクスルと右側リーフスプリングの間に挿入するシムの厚さが不適切なため、センターピンがフロントアクスルに確実に嵌合されていないものがあります。そのため、そのまま使用を続けると、路面からの大きな入力等によって、フロントアクスルがずれてタイヤの角度が変化し、最悪の場合、走行安定性が損なわれるおそれがあります。

2. 改善の内容

- ・全車両、右側リーフスプリングのシム厚さを点検し、規定の厚さ以上のものは、センターピン及びシムを対策品に交換します。

3. 対象車両

- ・日産ディーゼル工業株式会社が製作している中型トラックが対象です。
- ・型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

型式	対象車の含まれる車台番号の範囲 及び製作期間	対象台数
PB-LK36A	LK36A-10137～LK36A-10259 平成18年 4月17日～平成18年 9月 1日	14
PB-MK35A	MK35A-10218～MK35A-10418 平成18年 3月23日～平成18年 7月31日	22
PB-MK36A	MK36A-12351～MK36A-14588 平成18年 3月24日～平成18年 9月29日	111
PB-MK36B	MK36B-10182～MK36B-10367 平成18年 3月28日～平成18年 8月22日	2
PB-MK37A	MK37A-10734～MK37A-11280 平成18年 4月10日～平成18年 9月 9日	13
PB-MK37B	MK37B-10244～MK37B-10488 平成18年 3月28日～平成18年 9月20日	7
PK-PK36A	PK36A-10099～PK36A-10234 平成18年 3月23日～平成18年 9月20日	41
PK-PK37A	PK37A-10320～PK37A-10735 平成18年 3月22日～平成18年10月30日	56
PK-PK37B	PK37B-10072～PK37B-10179 平成18年 4月 3日～平成18年10月 4日	8
PK-PW37A	PW37A-10137～PW37A-10223 平成18年 3月22日～平成18年 6月 9日	16
BDG-LK36C	LK36C-00027～LK36C-05111 平成18年12月 5日～平成19年 6月12日	10
BDG-MK35C	MK35C-00009～MK35C-05097 平成18年11月 9日～平成19年 6月28日	3
BDG-MK36C	MK36C-00041～MK36C-06120 平成18年11月 6日～平成19年 7月 7日	53
BDG-MK36D	MK36D-00010～MK36D-05115 平成18年11月 6日～平成19年 6月21日	4
BDG-MK37C	MK37C-05119～MK37C-05227 平成19年 2月21日～平成19年 6月18日	8
BDG-MK37D	MK37D-00032 平成18年12月21日	1
BDG-PK36C	PK36C-05023～PK36C-05072 平成19年 3月 8日～平成19年 7月 7日	8
BDG-PK37C	PK37C-00033～PK37C-05247	19

型式	対象車の含まれる車台番号の範囲 及び製作期間	対象台数
	平成18年11月15日～平成19年7月9日	
BDG-PK37D	PK37D-05047 平成19年6月6日	1
BDG-PW37C	PW37C-05166 平成19年7月16日	1
計20型式	製作期間の全体の範囲 平成18年3月22日～平成19年7月16日	合計398台

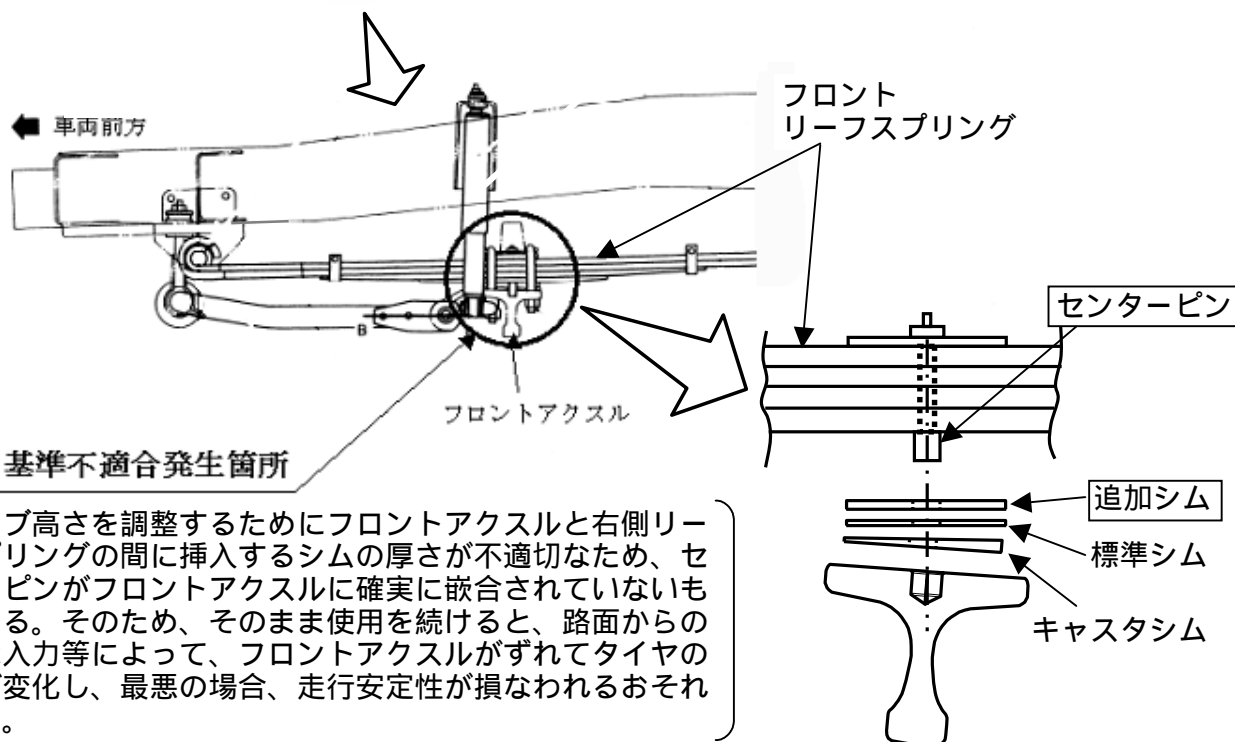
<備考>

- ・本届出は、平成19年4月25日に届け出たリコール「届出番号1874」の対象範囲以降の車両において、車両の製造工程における作業指示の徹底が不十分であったため同種不具合が発生したことから、対象車両を追加し、新たにリコール届出を実施するものです。

<ご注意>

- ・対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラック販売会社にお問い合わせください。
- ・対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

改善箇所説明図



改善の内容

全車両、右側リーフスプリングのシム厚さを点検し、規定の厚さ以上のものは、センターピン及びシムを対策品に交換する。

注: 内は交換部品を示す。

識別: 右側のリーフスプリング上面に、白色または黄色ペイントを塗布する。

(備考) 本届出は、平成19年4月25日に届け出たリコール「届出番号1874」の対象範囲以降の車両において、車両の製造工程における作業指示の徹底が不十分であったため同種不具合が発生したことから、対象車両を追加し、新たにリコール届出を実施するものである。